

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 発達と老化の理解Ⅱ				担当教員 氏名: 坂本 美奈子					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格			
実務経験を用いてどのよ臨床心理士としての実務経験は30年以上になる。子供から高齢者の心理面の発達を理解しより良い対人 うな授業を行っているか: 関係力の向上を教科書にはない心理学もふまえて学ぶ機会になればと思う。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
人は、生誕から死に至るまで成長、成熟して人間として個性化していく。ここでは、発達の の観点より老化に伴うところの変化を理解する。心理的評価法・援助技法の概要につい て理解し、現場に適應できる力を養い、自己・他者の理解を深める。					心の発達段階 喪失体験 人格と尊厳 高齢者の心理				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			発達の観点より、老化に伴うところの変化を理解する						
E 自己管理能力			現場に適應できる力を養う						
H コミュニケーション力			自己・他者の理解を深める						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	40 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: その他20%は、授業の出席や受講態度等による。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートにコメントや成績をつけて返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①人間のこころの成長と発達(人間の成長・発達と心理的理解)				120分					
②ライフサイクル				毎回の事後学習として、授業で 120分					
③心の発達段階と課題				学んだことを通して、高齢者の 120分					
④喪失体験				心理を理解し高齢者に接する自 120分					
⑤老年期の成熟				分自身の自己肯定感と他者肯 120分					
⑥人格と尊厳				定感をバランス良く高めるには 120分					
⑦中間のまとめ				どのようにすれば良いか考え練 120分					
⑧老化が及ぼす心理的影響(老人の心理的理解)				習(実践)していきましょう。 120分					
⑨老いの価値観・受容				120分					
⑩高齢者のこころの問題と精神障害				120分					
⑪介護者による高齢者の心理				120分					
⑫高齢者の知的・認知機能とその特徴				120分					
⑬高齢者の精神的機能の変化と介護予防				120分					
⑭高齢者の心理のまとめ(老人の心理的理解)				120分					
⑮総括				120分					
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座12『発達と老化の理解』 中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会編集				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									